



1 楽しくIT体験 学生大活躍!



オープンキャンパスに参加したスタッフ

オープンキャンパスが、イオンモール水戸内原で3月7日(土)に開催され、延べ112名が楽しくITを体験していました。準備した5つの体験(①情報セキュリティ、②プロジェクションマッピング、③ロボット、④VRでキャンパスツアー、⑤AIとジャンケン)は、2年生11人(基本情報技術者)が、約2か月かけて準備したものです。ロボットを担当した相澤琉夏さん(土浦工高卒)は、「小学生も学校でscratchプログラミング体験があり、スムーズにロボットを動かしていました」と驚いていました。



小学生にプログラムを教える学生

情報セキュリティ問題に取り組む高校生

情報セキュリティを担当した高橋京汰さん(日立工高卒)は、「高校生が夢になって、セキュリティ問題に取り組んでいます」と嬉しそうに話していました。相談コーナーには「情報を集中して学べる大学校を初めて知った」、「県立で授業料も家庭にやさしい」などのお声を頂きました。2回のオープンキャンパスを担当した松浦真紀先生は「大学校の認知度を上げるため、慣れない学生も来場者に寄り添い、協力し分り易く説明するなど大活躍でした」と振り返っていました。

2 新大学校の学びに興味!



本校説明会に聞き入る高校生

進学相談会(東海高校、海洋高校、水戸桜ノ牧高校:常北の2年生対象)が、3月11日(水)に水戸市内で開催されました。

本校の説明会に参加した生徒は「情報に特化した新大学校に興味があります。オープンキャンパスで実際の新校舎も見てみたい」と話していました。

3 『記事トレ』紹介



本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向上のため『記事トレ』を実施しています。新聞を読み、要約とIT技術者としての感想を書くトレーニングを通して読み解く力を育成します。

<記事トレ>朝日新聞(2025年12月4日) 不正アクセス容疑

17歳がプログラム自作 個人情報取得 再逮捕へ

●横須賀咲汰さん(水戸葵陵高卒)

◇要約: 高2の男子生徒が快活クラブのサーバーに侵入し個人情報を取得したりアプリの機能を一部停止させるなどして逮捕された。また、不正に入手した他人名義のクレカでポケカを購入した窃盗の疑いもある。AIを悪用した犯行である。

◇感想: 生成AIの発展が裏目に出てしまったなと思った。AIは何でも教えてくれるため、倫理に関する教育などをしておくべきだと思った。技術を持っていても犯罪に使うのではなく、未来の発展に使用すべきだと思う。

●千葉春奈さん(多賀高卒)

◇感想: 生成AIの進展とその活用には目を見張るものがあるが、高い技術力を持った若者がそれを悪用したことは残念だと思う。

技術の規制だけでなく、使う側の倫理教育を推進する必要があると強く感じた。

●本橋梨心さん(土浦三高卒)

◇感想: IT技術者でなくても気軽にAIを利用できるようになった今、小さなころから利用する上でモラル教育が大切で必要だと思った。特に小・中学生は善悪が曖昧な子もいるので気を付けるべきと感じた。

●照山裕人さん(小瀬高)

◇感想: IT技術者として、高校生でも不正アクセスのプログラムが作れてしまうのは危険だと感じた。

企業はセキュリティを高め、オープンAIを制作している企業は、質問の規制を高めるなどの対策が必要だと思う。また、教育の面でも情報モラルについて勉強を進める必要があると感じた。

●西丸翔さん(常磐大高卒)

◇感想: 日々私たちの生活で利用されている対話型AIによって犯罪が起きたことに驚いた。AIでは犯罪に関する質問を拒否する仕組みがあるが悪用されてしまった。

我々技術者は、情報モラル教育など多角的に物事を見て対策を講じる必要があるだろう。

